

平成29年10月11日

輸送動向について（9月分）

1. 輸送概況

今月は、広島・岡山地区の大雨および台風18号接近の影響等により、月全体で高速貨177本が運休となった（前年は、高速貨324本、専貨4本が運休）。台風18号の影響で不通となっている日豊線については、トラックによる代行輸送を実施している。

コンテナについては、積合せ貨物がドライバー不足を背景に鉄道へのシフトが続き、関東・関西地区発を中心に好調となった。また、農産品・青果物は北海道産野菜類や馬鈴薯が前年に台風の影響を受けていたこともあり、前年を大きく上回ったほか、食料工業品は関西発北陸向けのビールが堅調に推移したことに加え、北海道・新潟発の菓子類が増送し、前年を上回った。さらに自動車部品も大手自動車メーカーの販売好調に伴い、東海・東北地区間や関東・九州地区間などでの輸送が順調に推移した。

一方、紙・パルプは印刷紙・コート紙の需要減少等により、前年を下回ったものの、コンテナ全体では前年比107.7%となった。

車扱については、石油が配送圏の見直しに伴い鉄道へのシフトが進んだことから、前年を上回った一方で、セメント・石灰石は需要減少等により大幅な減送となった。その結果、車扱全体では前年比100.9%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比105.9%となった。

2. 輸送実績

（単位：千トン、%）

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,978	1,835	107.7%	10,995	10,572	104.0%
車 扱	694	687	100.9%	3,962	3,910	101.3%
合 計	2,671	2,523	105.9%	14,957	14,481	103.3%

3. 品目別輸送実績表

（単位：千トン、%）

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	221	195	26	113.1%
	化学工業品	181	173	8	104.6%
	化学薬品	126	119	7	105.8%
	食料工業品	314	297	17	105.9%
	紙・パルプ	263	266	-3	98.8%
	他工業品	139	127	12	109.4%
	積合せ貨物	240	214	26	112.3%
	自動車部品	76	65	11	117.2%
	家電・情報機器	40	38	2	104.2%
	エコ関連物資	43	36	7	118.6%
	その他	335	305	30	109.7%
	コンテナ計	1,978	1,835	143	107.7%
車 扱	石油	444	431	13	102.9%
	セメント・石灰石	126	140	-14	90.1%
	車両	68	70	-2	96.5%
	その他	56	46	10	121.2%
	車扱計	694	687	7	100.9%
合 計		2,671	2,523	148	105.9%

（車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値）